



町田市立町田第三中学校

# 三中 News

第15号

令和7年 1月8日 発行

町田市本町田1853番地  
電話 042(722)6095  
FAX 042(721)4386  
ホームページもご覧ください。

<http://www.machida-ky.ed.jp/j-machida3/>

「町田第三中学校」で検索

## 「脱皮して以て大蛇となる」

## 三学期始業式校長式辞

### 【新年が始まりました】

おはようございます。新しい年を迎えました。今年もよろしくお祈りします。  
さて、2025年、令和7年が始まりました。東北では災害級の豪雪となり、昨日はチベットで大きな地震があったようです。様々な苦しんでいる人がおられますが、我々も災害に対する備えを忘れずに生活していきましょう。三中でも大地震や大きな事故に遭遇したときに備えて毎月避難訓練を行っていますが、災害はいつやってくるかは分かりません。万一の際には落ち着いて命を守る行動が取れるように、今後も避難訓練に真剣に取り組んでいってください。

### 【これまでの困難をしなやかに乗り越える年】

さて、今年は巳年。十干十二支という60年を一つのサイクルとした暦の考え方から言えば、まず十干の「乙」（おつ・きのと）は、困難があっても紆余曲折しながら進むことや、しなやかに伸びる草木を表しています。十二支の「巳」は「へび」ですね。町田のこの辺りに生息するへびとしては、ヤマカガシ、シマヘビ、アオダイショウ、ジムグリ、ヒバカリ、マムシの6種類がいるらしいですが、野生のへびを見たことのない人も多いかもしれませんね。

へびのイメージはプラスとマイナスの両極端なことが多いようです。脱皮し強く成長するへびは、その生命力から「不老長寿」を象徴する動物、または神の使いとして信仰されてきた一方、八岐大蛇のように災いをなす存在としても恐れられてきました。へびのイメージから巳年は「再生と変化」の年とされているようです。したがって、2025年・乙巳年（きのとみどし）は、「これまでの困難をしなやかに乗り越え、変化し、新たに生まれ変わる年」と言えそうです。

ちなみに大化の改新が始まった645年、壇ノ浦の戦いで平家が破れ貴族政治にピリオドが打たれた1185年、日露戦争で大国ロシアに日本が勝利した1905年も60年に1度の「乙巳年」でした。これらはこじつけと言われればそれまでですが、「これまでの困難をしなやかに乗り越え、変化し、新たに生まれ変わる年」になると考えて行動する方が希望をもてますよね。皆さんもぜひ脱皮するへびのように、古い殻を脱ぎ捨て、新たな自分に生まれ変わるよう成長していきましょう。

### 【脱皮して以て大蛇となる 大きいことはいいこと?】

さて、今日は巳年にちなみ、「脱皮して以て大蛇となる」ということわざについてお話をします。先ほどもお話ししたように、蛇は脱皮するごとに大きくなります。世界最大の蛇は、ギネスブックに載っているものでは、アミメニシキヘビで体長7・67メートル、体重136キロもあるそうです。脱皮は子供のうちは数週間に一度、大人になると1年に1・2回するようです。脱皮は新陳代謝という細胞の生まれ変わりによって起こります。古い細胞が新しい細胞に生まれ変わる仕組みですから、必ずしも脱皮＝大きくなる、ということではないことをおもしろく感じます。成長という言葉は人間だけではなく、組織や国など生物以外にも使われます。全ての数字が前の年を超えて成長していく、そんな時期もありますが、多くの先進国がそうであるように、人口など、減っていくことも多くあります。日本も2004年の12,784万人をピークに減少に転じ、2100年には最大でも6400万人、最小だと3770万人になるとの予測がなされています。経済も同様です。長らく世界2位を維持した日本のGDPも2010年には3位に、そして2023年にはついに4位に転落しました。日本の経済力低下は海外旅行に行くと、本当に切実に感じます。2010年くらいまでは世界のどこに出かけても、常に日本人があふれていました。ハワイしかりグアムしかりです。現地の人にも日本語で声を掛けられることが当たり前でした。しかし、今はまず「あなたは何人？」と出身国を聞かれるところから始まります。先日行ったベトナムでも、二回参加したツアーで、二回とも日本人は私だけでした。どこでも日本人にあふれる時代、そんな時代は過去のもの

のとなりつつあります。

私が子供のときには、「大きいことはいいことだ」というCMのフレーズがありました。もちろん、大きいことのメリットはありますが、蛇も無限に大きくなるわけではないように、いろいろなものやことも全て数や規模を大きくしていけるわけではありません。しかし、人や組織は常に脱皮し続けていく存在なのです。脱皮して新陳代謝したときに、数や規模という量を増やせないのであれば、質を高めていくという成長を目指すことができます。「脱皮して以て大蛇となる」、この大蛇をサイズ上の大蛇ではなく、影響力や国際貢献力という質の大蛇を目指していくことが、これまで以上に求められているように感じます。過去を脱ぎ捨てて、新たな存在に生まれ変わるときに、サイズも質も安っぽくしていくのか、それともサイズが小さくても質を高めていくのか。これは皆さんにかかっています。2025年、巳年。どうか皆さんには、「これまでの困難をしなやかに乗り越え、変化し、新たに生まれ変わる年」としていつてくれることを心から期待したいと思います。

### 【2025年も充実した一年に】

今日はたくさんの方が地域清掃に参加してくれますね。どうぞよろしくお願ひします。冬休みの宿題は終わりましたか。皆さんの書初めを見るのも楽しみです。三学期、3年生は高校受験、1年生は16日からスキー移動教室がありますね。また、2年生は職場体験があるかと思ひます。今学期もいろいろとありますが、ぜひ全力で取り組み、寒さに負けず元気いっぱいの中三ライフを送ってください。たくさん読書をして、勉強もして、自分と仲間と切磋琢磨していきましょう。終わります。

### ○1月8日(水) 3年生を励ます会

1月8日(水)、始業式直後、生徒会が音頭をとって恒例の「3年生を励ます会」が行われました。今月には都立推薦入試、2月には私立・都立受験(受検)を控える3年生に、1・2年生が励ましの言葉とメッセージ等を送る行事です。3年生、卒業まであと60日ですね。希望する進路が達成できるよう、皆で応援しています。



### ○1月8日(水) 地域清掃

1月8日(水)、始業式後のお昼に、本校生徒が地域清掃に参加しました。滝の沢、公社住宅木曽団地、みどりが丘、境川、木曽中原、日東住宅、新日東住宅、原田向の8地区に分かれ、本校生徒のうち約6割に当たる266名が、ごみ袋などを手に、地域の方々と清掃活動にいそしみました。

年に一回のことではありますが、日ごろお世話になっている地域の方と三中生が触れ合う貴重な機会です。地域の方も普段からきれいにしてくださっているおかげで、「ゴミがなくて困った」などというグループもあったようですが、それはそれでまたよいことですね。

地域清掃から戻ってきた生徒のお楽しみは、PTAの皆様が用意してくださった焼き芋。その場で平らげる生徒、大切に家まで持ち帰る生徒など様々でしたが、新年早々三中生の笑顔があふれました。

### ○1年スキー移動教室

1月16日(木)から18日(土)の2泊3日の日程で、1学年が長野県白樺湖で行われるスキー移動教室に参加します。もともと白樺湖ロイヤルヒルスキー場は人工降雪が中心のゲレンデですが、人工降雪機もマイナス5度以下でないと稼働させられないとのことで、近年は雪不足が続いていました。初心者にとっては、溶けては凍って、を繰り返したアイスバーンはなかなか強敵で、少し傾斜がきついところでは立ちすくむ生徒の姿が見られたのがここ数年のスキー教室でした。

しかし、今年は8日現在で75センチの積雪。最低気温もマイナス11度から13度と、毎晩人工降雪機で新たな雪を積もらせてくれる好コンディションが期待できます。1年生の皆さん、安心・安全なスキー移動教室となるよう、コロナやインフルエンザに感染しないよう、しっかり体調管理に努めて1月16日を迎えましょう。